

【研究ご協力の小学校教員の皆さまへのご説明資料】

「児童の授業中における集中力向上に役立つ活動的休息(Active Breaks)プログラム開発：教員の意識調査」
について

調査にご協力いただいた皆様へ

臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。対象者への侵襲や介入もなく日常生活情報等を用いる研究等については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、上記指針では研究対象者への通知文書公開が義務付けられています。

【研究課題名】

小学校教員との協働による、児童の授業中における集中力向上に役立つ活動的休息(Active Breaks)プログラム開発：教員の意識調査

【研究の意義と目的】

私たち島根大学を中心とした研究チームは、授業中に「学習の要素を組み込んだ活動的休息」(Active Breaks; 以下 AB)と呼ばれるプログラムに着目しました。ABは集中力や覚醒レベルのアップを狙った「新しい休息时间」の取り組みです。欧米の小学校ではすでに成果が出ており、学力（算数、国語など）や生活態度などに良好な効果が示されています。しかし AB は我が国ではほとんど実践例がありません。また、小学校のカリキュラムなどは欧米と日本で異なるため、日本における AB の効果的なやり方がそもそもよくわかっていません。そこで本研究では、小学校の先生方を対象に、先生方が AB を学校に導入するにあたり、どのような点を意義や課題と考えていらっしゃるか、先生のご意見をお聞かせいただきたく、アンケートへのご協力をお願いしています。

【対象者】

日本の小学校に所属する教員 約 100 名

【研究期間】

2024 年 10 月 23 日から 2027 年 3 月 31 日まで

【研究方法】

質問紙を用います。

【使用する情報】

1. 研究に使用する試料 なし
2. 研究に使用する情報 アンケート用紙（紙媒体）

【情報の保存、管理について責任を有するもの】

収集されたデータは、島根大学人間科学部・宮崎研究室の責任下に保管されます。

【研究責任者およびお問合せ先】

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ただし、アンケートでは個人の特定はできないため、回答後のデータ削除はできないことをご承知おきください。

島根大学人間科学部 准教授 宮崎 亮

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

※電話番号・メールアドレスは、対象者に提供する研究説明資料に掲載しています。

国の研究倫理指針（※1）と、それに対する本研究での対応一覧

No	「を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（※1）での記載内容	本研究での対応
①	試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	小学校を対象とした AB プログラム開発
②	利用し、又は提供する試料・情報の項目	調査票（アンケート）内の質問項目のみ
③	利用又は提供を開始する予定日	2024 年 10 月 23 日
④	試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	島根大学 学長 大谷 浩
⑤	提供する試料・情報の取得の方法	調査票
⑥	提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称	（研究責任者）島根大学人間科学部 准教授 宮崎 亮
⑦	利用する者の範囲	記載した研究者のみ
⑧	試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	（研究責任者）島根大学人間科学部 准教授 宮崎 亮
⑨	研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	後日、結果の概要を HP にて公開予定
⑩	⑨の研究対象者等の求めを受け付ける方法	研究責任者の連絡先
⑪	外国にある者に対して試料・情報を提供する場合には、1(6)イに規定する情報	該当しない（必要に際し、研究責任者が対応する）

※1 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」

文部科学省・厚生労働省・経済産業省

令和3年3月23日（令和4年3月10日一部改正）（令和5年3月27日一部改正）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001077424.pdf>